

月刊

東海財界

明るく、前向きに。
ポジティブカンパニーで
難局乗り切る。



東海テレビ新社長 林泰敬氏

Monthly Report

愛知県がんセンター
(愛知県病院事業庁長兼務)

丹羽 康正 総長

県民の理解を広げるため
がんセンターの業務や
成果の可視化を進めたい

医療法人
名古屋放射線診断
財団

岩田 宏 理事長

「念すれば花ひらく」
医療に関しても経営に
関してもそれは揺るがず

コッパ・チェントロ・
ジャッポーネ2025
実行委員長

平松 正光 氏

表現の場としてのイベント
食やファッショなど
新たなジャンルで展開

片岡憲明弁護士の法律相談事務所



片岡 憲明（かたおか のりあき）1977年生まれ。2001年東京大学法学院卒業。同年司法試験合格。03年弁護士登録。寺澤綜合法律事務所入所。07年片岡法律事務所入所。23年7月より同事務所代表弁護士。
<弁護士法人片岡法律事務所>名古屋市中区丸の内2丁目19番25号MS桜通7、8階 ☎ 052-231-1706

交通事故に備えて入っておくべき自動車保険

【質問】.....

私は、休日にマイカーでドライブ中、青信号で交差点を直進したところ、対向車が右折てきて、衝突事故が起きました。事故により自車・相手車ともに大破し、私は足の骨を折る重傷を負いました。

ところが、相手方は外国人で任意保険に加入しておらず、収入もなく一切賠償できないということです。

私が契約している保険会社に相談したところ、私が最低限の賠償責任保険しか入っていないため、自賠責保険など最低限の補償しか受けられないと説明されました。このようなケースに備えて、どのような保険に加入すべきだったのでしょうか。

【回答】.....

① 相手方が無保険のケース

当事務所では、近時、多数の交通事故事件を担当しております。相手方が外国人で任意保険に未加入、というケースも数多く経験しました。こうしたケースでは、相手方に支払い能力が無いため、ほとんど損害賠償してもらえない（自動車の修理代、怪我に対する治療費・慰謝料・休業損害等）という事態も珍しくありません。

このようなケースに備えて、どのような保険に加入しておくのが良いのでしょうか。

② 車両保険

まずは、車両保険に加入することをお勧めします。

これは、相手方が無資力であったとしても、また、自分にも過失があったとしても、車両保険金額の枠内で、車両の修理代をカバーしてもらえる保険です。

相手方が無資力であっても、過失割合に争いがあっても、相手方との交渉無くすぐに支払ってもらえるので、スムーズです。

③ 人身傷害補償保険

次に、人身傷害補償保険に加入することをお勧めします。

これは、やはり相手方が無資力であっても、また過失割合がある事故であっても、人身損害の大

部分（約9割程度）を保険会社が補償してくれます。

保険会社が一定の基準で、治療費、慰謝料、休業損害、後遺障害に対する補償等を相手方との交渉無く支払ってくれるので、非常にスムーズです。これらの損害額は大きく、相手方との交渉が難航するケースが多いため、非常に被害回復に役立ちます。

なお、補償金と本来の賠償金額との差額を相手方に請求することも可能ですから、最終的に100%に近い補償を受けることも可能です。

④ 弁護士費用特約

自動的に付帯されることも多いのですが、弁護士費用特約にも加入しておくと良いです。

万が一相手と法的なトラブルになった際に、弁護士への相談・依頼費用を保険でまかなえる制度です。保険料に対してメリットが非常に大きく、トラブル時に大いに役立ちます。

⑤ 保険料とのバランス

もちろん、これらの補償を追加すると保険料も上がります。

したがって、実際に事故に遭った際のリスクを考え、補償と保険料とのバランスを考えて頂きたいと思います。私は、普段から【質問】のような事案に接しているため、必ずこれらの特約を追加するようにしています。